

取扱説明書


低床 L ジャッキ

NLJ-4A



警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。

 長崎ジャッキ株式会社

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎の低床Lジャッキをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので十分理解した上で、正しく使用してください。

お買い上の製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせしてください。

尚、取扱説明書および警告ラベル等貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付してください。

警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

▲危険・・・取扱を誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

▲警告・・・取扱を誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。

▲注意・・・取扱を誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 使用目的 | 2 |
| ▲ 2. 危険・警告・注意事項 | 2 |
| 2-1 危険事項 | 2 |
| 2-2 警告事項 | 2 |
| 2-3 注意事項 | 4 |
| 2-4 ラベル貼付け位置とラベルの名称 | 5 |
| 3. 構造及び各部の名称 | 5 |
| 3-1 操作ハンドルの取り付け方 | 5 |
| 3-2 構造及び各部の名称 | 6 |
| 3-3 安全装置 | 6 |
| ▲ 4. 使用方法および使用上の注意 | 7 |
| 4-1 始業点検 | 7 |
| 4-2 ジャッキを使用する床条件 | 8 |
| 4-3 ジャッキポイントとジャッキの使用方向 | 8 |
| 4-4 移動の仕方 | 9 |
| 4-5 上昇及び停止操作 | 9 |
| 4-6 リジッドラック（馬ジャッキ）のかけ方・はずし方 | 11 |
| 4-7 下降操作 | 13 |
| 4-8 始業点検と保管 | 13 |
| 5. 定期点検 | 14 |
| 5-1 点検 | 14 |
| 5-2 可動部への給油 | 15 |
| 5-3 作動油の種類と交換・補給 | 16 |
| 6. 故障と処置 | 17 |
| 7. 仕様 | 18 |
| 8. 製品保証規定 | 18 |


1.使用目的

この低床Lジャッキ（以下ジャッキと言う）は、フォークリフト・事故車等をリジッドトラック（馬ジャッキ）で保持させるために上昇・下降させるジャッキです。このジャッキは、ジャッキアップ状態での洗車作業には使えません。



2.危険・警告・注意事項

このジャッキをご使用頂く上での人身事故や車体の損傷を防止するための重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読みよく理解してから使用してください。




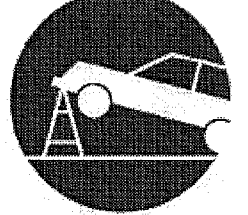
2-1 危険事項

| ▲危険 | |
|---|---|
|  | ジャッキアップ状態で車体の下での作業は厳禁。 ※死亡又は重傷の危険性があります。 |

2-2 警告事項

| ▲警告 | |
|---|--|
|  | 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること。 ※重要な警告事項が説明されています。警告事項に従ってください。重大な事故につながります。 |
|  | 操作は、操作方法を熟知した人意外は、使用禁止。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。 |

▲警告

| | |
|---|--|
|  | <p>純正アタッチメント以外の使用禁止。</p> <p>※昇降中の振動でカイモノが外れ、車体の落下の危険性あり。</p> |
|  | <p>傾斜地や滑りやすい床や軟弱な場所での使用禁止。</p> <p>※傾斜地や軟弱な場所で使用すると、ジャッキが傾き、受け金が外れ、車体の落下による重大な被害が発生します。</p> |
|  | <p>車のブレーキ及びタイヤストッパーを掛けての使用禁止。</p> <p>※上昇中又は作業中に受け金のセットが外れ、車の落下の危険性あり。</p> |
|  | <p>リジッドラックを必ず使用すること。 (取扱説明書を読むこと。11ページをご参照ください。) ※ジャッキアップ状態での作業は、万一ジャッキの受け金が外れた時に、死亡や重傷の危険性あり。</p> |

▲警告

| |
|---|
| <p>受け金と車体の受け面の角度が 10 度以上傾けての使用禁止。</p> <p>※上昇中又は作業中に受け金のセットが外れ、車の落下の危険性あり。</p> |
|---|

2-3 注意事項

注意

一般的な注意

- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 2.安全弁（安全装置）を絶対に調整や改造をしないこと。
- 3.自動車整備以外での使用禁止。
- 4.能力以上の使用禁止。
- 5.2台以上の同時使用禁止。
- 6.ジャッキアップ状態での移動禁止。
- 7.保管場所は、ハンドルが倒れても人や車にぶつからない屋内に保管のこと。
- 8.ジャッキの改造は禁止。
- 9.洗車作業での使用禁止。
- 10.オイルは弊社指定のジャッキオイルを使用のこと。重粘度のオイル、ブレーキオイル等は絶対に使用しないこと。

使用上の注意

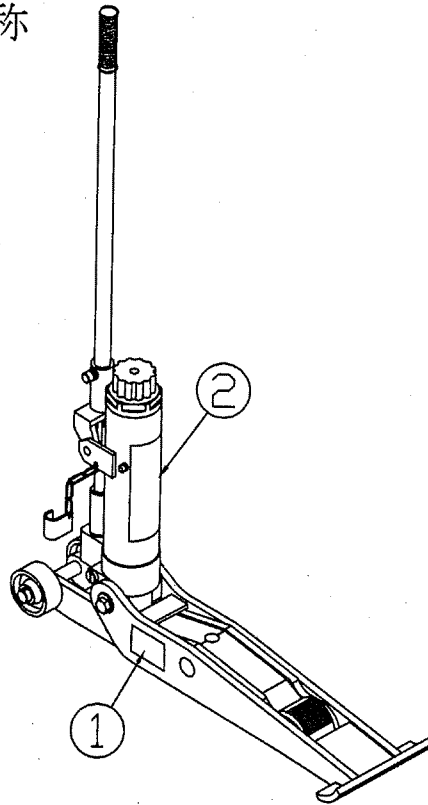
- 1.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 2.ジャッキの昇降操作中は車体の状態に注意し、わき見運転は絶対禁止。
- 3.荷物や人を載せたままでの使用禁止。
- 4.車の昇降時には、他の人を車に近付けたり、ジャッキや車に触れさせないこと。
- 5.エンジンをかけたままの使用禁止。

操作上の注意

- 1.受金はジャッキポイントに確実にセットすること。
- 2.ジャッキポイントは車体の外側より8cm以上奥の強固で平坦な場所にする。
- 3.受け金の中心に負荷すること。
- 4.下降操作前に、ジャッキ周辺の安全を確認すること。
- 5.偏荷重での使用禁止。
- 6.滑りやすい床での使用禁止。
- 7.上昇作業中は、受け金に確実にセットされている事を確認しながら操作のこと。
- 8.受け金は車体とずれながら上昇するため車体に傷が付く恐れがあります。
- 9.急激な下降操作はしないこと。

2-4 ラベル貼付位置とラベルの名称

NLJ-4A



| | |
|---|----------|
| ① | 型式・能力ラベル |
| ② | 警告ラベル |

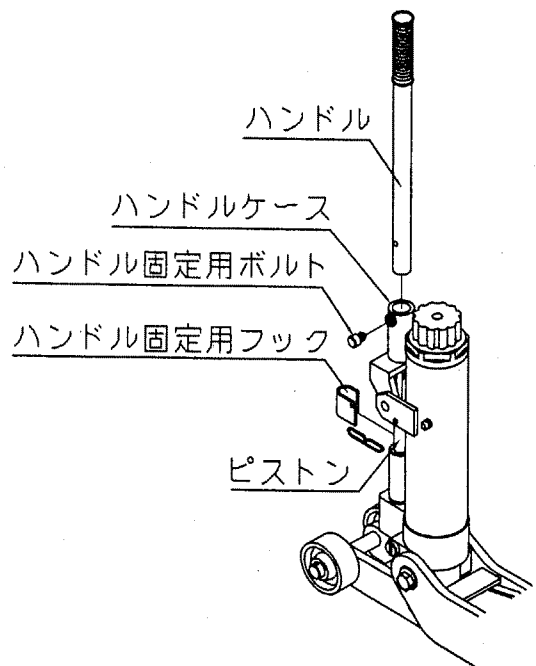
▲注意

警告ラベルは大切に使用してください。はがれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

3. 構造及び各部の名称

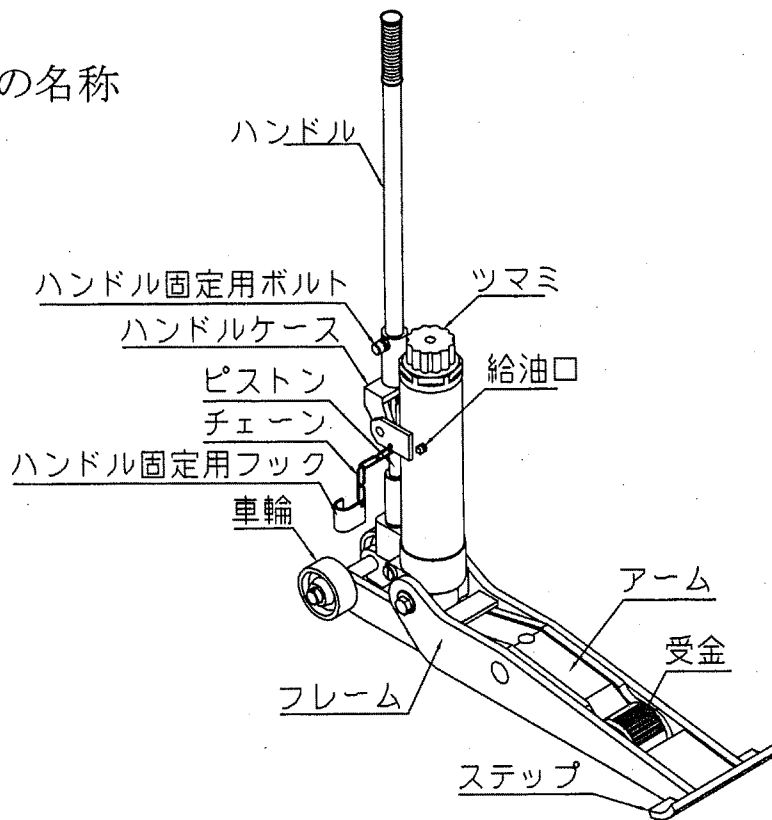
3-1 操作ハンドルの取り付け方

1. ハンドルケースの固定ボルトをゆるめる。
2. ハンドルをハンドルケースに挿入する。
3. ハンドル固定用ボルトをハンドルの穴に合わせて確実に締め付けてください。



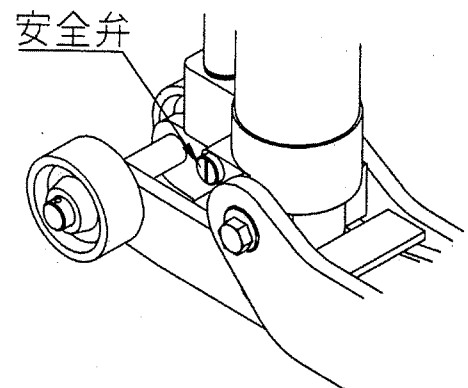
3-2 構造及び各部の名称

●NLJ-4A



3-3 安全装置

安全弁(安全装置)は、ジャッキの能力を越える車体を上昇させようとした時、また、何らかのトラブルで油圧力が異常に上昇した時に油圧を逃がしてジャッキの破損や事故を防止するものです。



▲警告

安全弁(安全装置)の調整や改造は絶対しないこと。安全弁(安全装置)が作動しないで、重大な事故につながります。

4.使用方法及び使用上の注意

▲警告

このジャッキの操作は、使用方法の熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。なお点検はジャッキに物を載せない状態で行ってください。

▲注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでジャッキの使用を禁止して、直ちに販売会社に連絡してください。そのままお使いになりますとジャッキの破損及び重大な事故につながる危険があります。

☞ 6 ページの各部の名称を参照してください。

| 点検箇所 | 内容 | 点検方法 |
|------------------------------------|--|-------|
| 受け金 アーム フレーム ステップ ピストン | 変形、破損、磨耗していないか | 目視 |
| 車輪 | スムーズに回転するか 各部に変形、破損、磨耗はないか | 目視 |
| アーム部 フレーム部 油圧シリンダー部 | 上昇、下降を行った時、 円滑に作動し、異音はないか、 油漏れはないか | 目視、聴取 |
| 各ネジ部 (ボルト及びナット部) | 変形、破損 緩みはないか | 目視 |
| 止めリング 割りピン類 | 変形、破損、外れはないか | 目視 |
| ジャッキ全体部 | 変形、破損等異常はないか | 目視 |

▲注意

1. 増し締めを行う場合は取扱説明書 17 ページの表のねじ締付トルク欄を目安に増し締めを行ってください。
2. ジャッキのシリンダー本体部は増し締めを行わないでください。増し締めを行う場合はお買い上げの販売会社へ連絡してください。

4-2 ジャッキを使用する床条件

▲警告

傾斜地や軟弱な場所や滑りやすい床では使用しないでください。ジャッキが傾き、受け金が外れ、車体の落下による死亡や重傷の危険があります。また、傾斜地ですと、車体が動き出して重大な事故になります。必ず、平坦な硬い床で使用してください。

▲注意

滑りやすい床で使用しないでください。ジャッキのフレーム前部のステップがずれ、ジャッキが外れ車体が落下する危険性があります。

4-3 ジャッキポイントとジャッキの使用方向

▲警告

車体を支持する場合は、各車両メーカーが指定するガレージジャッキポイント（以後ジャッキポイントと言う）とし、他の部分で支持しないでください。車体の変形・荷重バランスの悪化により重大な事故につながります。

▲警告

受け金と車体の受け面の角度が10度以上傾けての使用禁止。受け金は車体とずれながら上昇しますので、過度の傾斜は使用中のジャッキの受け金が、車体の下からはじかれて車体が落ち、重大な事故につながります。

▲注意

- 1.必ず受け金の中心に荷重がかかるようジャッキポイントにセットしてください。
- 2.偏荷重での使用はしないでください。

▲注意

車体の強固な平面を必ずジャッキポイントとしてください。ジャッキの受け金は車体の受け面とずれながら上昇するため車体に傷が付く恐れがあります。また、車体が落下する危険があります。

警告

車体のタイヤは、ハンドルを回してまっすぐにしてください。
ジャッキを車に対して真っ直ぐに入れてください。受け金がはずれ、車の落下や人身事故につながります。

4-4 移動の仕方

ハンドル固定用フック(コの字形状)をピストンにかませ、ハンドルを倒して、ジャッキを傾けて移動させてください。

4-5 上昇及び停止操作

← 6 ページの各部の名称を参照してください。

警告

このジャッキのリンク機構は、受け金を上昇・下降させますと、受け金位置も前後に移動します。そのため、受け金位置の変化に合わせて車または、ジャッキが移動しないと、受け皿とジャッキポイントが外れ、車の落下や人身事故につながります。車のブレーキ及びタイヤストッパーを掛けて使用しないでください。

1) 受け金上昇操作

ツマミ (リリースバルブ) を時計方向に回転が止まるまで回し、ハンドルを上下に操作します。

注意

1. わき見をしながらの操作はしないでください。重大な事故につながります。
2. 能力を超える車体は、ジャッキアップしないでください。ジャッキの損傷につながります。
3. 上昇中は受け金が車体のフレームにずれながら上昇しますので、確認しながら上昇してください。

2) 受け金停止操作

ハンドルの上下操作を途中で止めますと、受け金は、その位置で上昇を停止します。受け金は荷重を保持したままになります。

▲注意

- 1.受け金を上昇させ、受け金が車体にあたった時点で一旦停止させ、受け金が車体の正しいジャッキポイントにセットされていることを確認してください。もし合っていなかったら、一旦下降させ正しいジャッキポイントに再調整してください。
- 2.ハンドルの上下操作は、ハンドルをしっかり握って操作してください。ジャッキに以上が発生するとハンドルが跳ね上がったり、軽くなることがあります。ハンドルは常にしっかり握って操作してください。
- 3.異常が発生した場合は、車体を下降させ、異常箇所の修復を完全に行うまでジャッキの使用を禁止して、直ちに販売会社に連絡してください。

3) 揚程制限

このジャッキは、最高位に達するとハンドル操作が重くなります。更にハンドル操作を行ってもそれ以上の上昇はいたしません。

▲注意

- 1.車体の上昇量は、リジッドラック（馬ジャッキ）をかけることができる最小量としてください。必要以上の上昇はリジッドラックの位置決めがずらいばかりか、車体の落下や人身事故につながります。
- 2.最高位に達したら、ハンドル操作は直ちに停止してください。必要以上の操作はジャッキの損傷につながります。

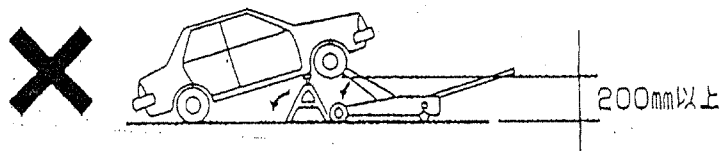
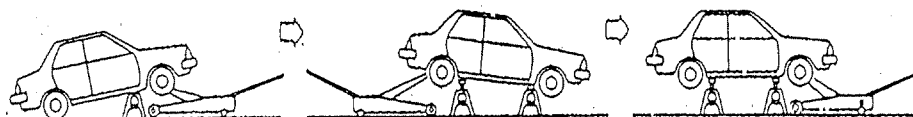
4-6 リジッドラック（馬ジャッキ）のかけ方・はずし方

▲注意

- 1.各車両メーカーが指定するジャッキポイントとし、他の部分では支持しないでください。
- 2.リジッドラックは、左右高さをそろえて使用してください。
- 3.リジッドラックの能力をこえる車体を乗せないでください。
- 4.リジッドラックの取扱説明書をよく読み理解してから正しくご使用ください。

(1) リジッドラック（馬ジャッキ）のかけ方

- 1.車体の前後にリジッドラックをかける場合は、車体を2～3回にわけて前後を交互に上げてください。

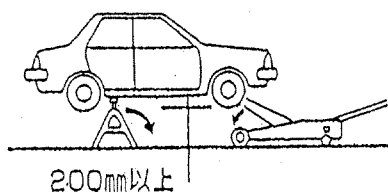
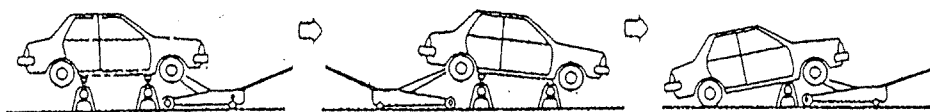


▲警告

車体を必要以上に高く上げないでください。必要以上に上昇させますとリジッドラックとの角度がつきすぎて、ジャッキポイントから外れる場合があります。またリジッドラックが倒れる危険性があります。

(2) リジッドラック (馬ジャッキ) のはずし方

リジッドラックをかけた手順と逆方法で、リジッドラックをはずしてください。必ず車体を2~3回にわけて前後を交互に下げてください。



▲警告

1. 車体を一気に下げないでください。受け金が外れてリジッドラックが倒れる場合があります。
2. リジッドラックをかけた時のジャッキより低い能力のジャッキでリジッドラックを外さないでください。必ず、同じ能力またはそれ以上の能力のジャッキを使用してください。ジャッキ破損及び重大な事故につながる危険があります。

4-7 下降操作

☞ 6 ページの各部の名称を参照してください。

ツマミ（リリースバルブ）を反時計方向にゆっくり回し、車体を徐々に下げます。

警告

車体を上昇・下降させる場合に車体の下、または周辺に人や物がないことを確認してください。重大な事故につながります。

注意

1. ツマミ（リリースバルブ）は、ゆっくり回してください。早く回すと車体は急激に下降し、ジャッキポイントから外れたりする場合があります、重大な事故につながります。
2. 下降中の車を急停止させないでください。車の落下やジャッキが破損する場合があります。
3. 下降中は受け金が車体のフレームにずれながら下降しますので、確認しながら下降してください。

4-8 終業点検と保管

作業が終了したら受け金やアーム部、フレーム部に付着したゴミ、オイル、グリース等をきれいにふき取ってください。この時、警告ラベル等が汚れで見えなくなったり、ジャッキ本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社にご連絡していただき処置してください。また安全のため受け金を最低位置まで下げて、ハンドル固定用フックをピストンにかませてハンドルを固定して屋内に保管してください。

注意

1. ハンドルが倒れても、人や車等につぶからない屋内に保管してください。
2. 必ずハンドルをロックして屋内に保管してください。

5.定期点検

5-1 点検

安全に使用して頂くために、必ず定期点検を実施してください。

| 点検期間 | 点検箇所 | 点検項目 | 点検方法 | 保守要項 |
|-------|-----------------------------------|---|----------|----------------------|
| 2 週間 | 受け金 アーム フレーム ステップ ロット | <ul style="list-style-type: none"> 破損、変形、磨耗 回転しゅう動部はスムーズか | 目視 触感 | 破損、変形、著しい磨耗は交換 給油 |
| | 車輪 | <ul style="list-style-type: none"> 破損、変形、磨耗 回転はスムーズか | 目視 | 破損、変形、著しい磨耗は交換 給油 |
| | 油圧シリンダー部 | <ul style="list-style-type: none"> 油漏れ、破損、変形 | 目視 | 修理 |
| | ハンドル部 | <ul style="list-style-type: none"> 破損、変形、磨耗 | 目視 | 破損、変形、著しい磨耗は交換 |
| | 各ネジ部 | <ul style="list-style-type: none"> 破損、変形、緩み | 目視 | 緩みは増し締め 破損、変形は交換 |
| | 止めリング 割りピン | <ul style="list-style-type: none"> 変形、破損、外れ | 目視 | 外れは組み直す 破損、変形は交換 |
| 3 ヶ月 | 油圧シリンダー部 | 作動油量の確認 | 目視 | 不足は補給 |
| 12 ヶ月 | 油圧シリンダー部 | 作動油の確認 | | 交換 |

5-2 可動部への給油

↓部は給油箇所

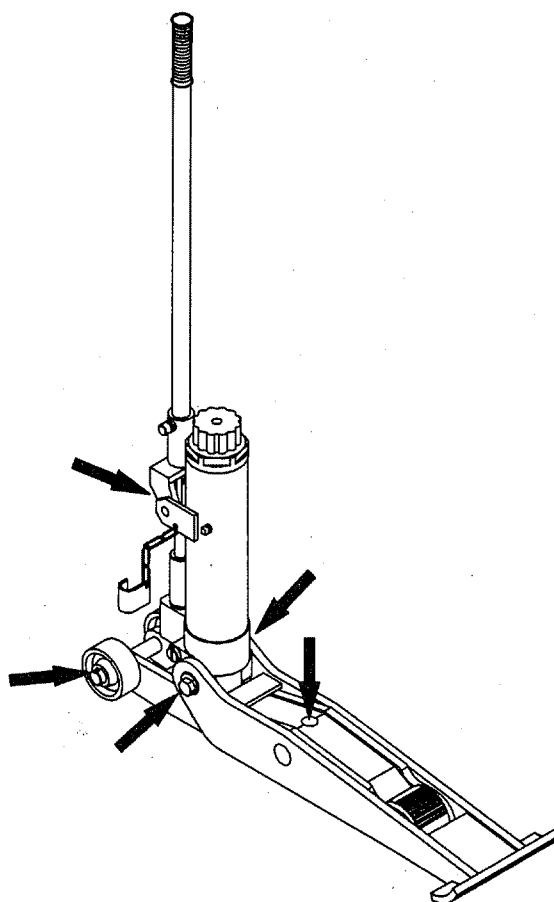
(潤滑油又はグリース)

*2週間に1度以上行ってください。

潤滑油 : マシン油

グリース : スプレー式グリース等、浸透性の良いグリースを使用してください。

●しゅう動部にも給油してください。



5-3 作動油の種類と交換・補給

初回の作動油交換は、3ヶ月経過した時点で行ってください。
 次回からは12ヶ月点検時に行ってください。

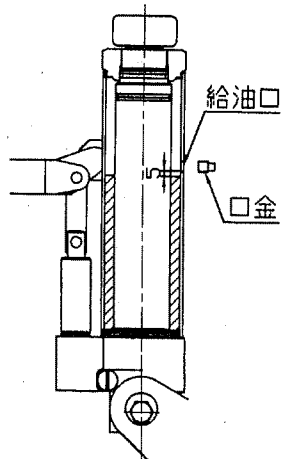
▲注意

- 1.補給・交換用のジャッキオイルは、弊社指定ジャッキオイル又は、下記に示すオイルを使用してください。
- 2.重粘度のオイル・ブレーキオイル・揮発性のオイル・植物性オイル等は絶対に使用しないでください。パッキン・ガスケットの機能が低下し自然降下の原因となります。

ジャッキの油量

| 型式 | 総油量 cc |
|--------|-----------|
| NLJ-4A | 330 |

*補給の場合、ハンドルを倒した状態で給油口より5mm下まで給油してください。



作動油の種類

| メーカー名 | 作動油名 |
|--------------|-------------------|
| JX 日鉱日石エネルギー | スーパーハイランド 22・SE22 |
| コスモ | ハイドロ HV22 |
| 昭和シェル | シェルテラスオイル S2M22 |
| モービル | DTE22・DTEXL22 |

▲注意

- 1.給油・補給は必ず受け金を最低位置まで下げた状態で行ってください。
- 2.油を入れ過ぎますと上昇する速度の低下の原因となります。

6.故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じたときは、この取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合はお買い上げの販売会社へ相談してください。

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------|--|---|
| 全然上がらない | (1)ツマミが完全に閉まっていない。 (2)ジャッキオイルが入っていない。 | (1) ツマミを確実に閉める。 (2)ジャッキオイルを補給する。 ※(1) |
| 途中までしか上がらない | ジャッキオイルが不足している。 | ジャッキオイルを補給する。 ※(1) |
| 自然降下する | ツマミが完全に閉まっていない。 | ツマミを確実に閉める。 |
| 下がりきらない | しゅう動部に給油されていない。 | しゅう動部に給油する。 |

※ (1) ジャッキオイルは、16 ページの 5-3 作動油の種類と交換・補給をご参照ください。

参考…ねじ締付トルク

ねじの締付トルクに付いては、建築用高力ボルト以外に JIS でははっきりと定められていません。はめ合いの固さ加減や接触面のスベリ具合の状態から数値を示す事は至難ですが、目安が何も無い事は現場に於いて不安であり不便でもあるので、参考までに下記に示します。

| ねじの呼び | 普通のボルト | 六角穴付ボルト・高張力ボルト |
|----------|------------|----------------|
| 強度区分 | 4.8 | 12.9 |
| M8×1.25 | 125 kg・cm | 393 kg・cm |
| M10×1.5 | 249 kg・cm | 780 kg・cm |
| M12×1.75 | 434 kg・cm | 1360 kg・cm |
| M16×2.0 | 1079 kg・cm | 3378 kg・cm |
| M18×2.5 | 1485 kg・cm | 4648 kg・cm |
| M20×2.5 | 2105 kg・cm | 6590 kg・cm |
| M24×3.0 | 3640 kg・cm | 11395 kg・cm |
| M30×3.5 | 7232 kg・cm | 22637 kg・cm |

* ジャッキのシリンダー本体部は増し締めをしないで販売会社へ連絡してください。

7.仕様

| 型式 | 能力 | 最低位 | 最高位 | 揚程 | 本体全長 | 本体全幅 | フレーム全幅 | ハンドル高さ | 自重 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|--------|--------|----|
| | ton※ | mm | mm | mm | mm | mm | mm | mm | kg |
| NLJ-4A | 4 | 55 | 400 | 345 | 660 | 180 | 80 | 1013 | 30 |

(品質向上のため予告なく仕様は変更することがあります。)

※仕様上の能力とは、受け金高さが、揚程の半分の高さまで上がった位置での、持ち上げ荷重を示します。受け金高さが揚程の半分より低い位置ですと、能力は小さくなります。

8.製品保証規定

1) 保証規定

取扱説明書、本体注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後一年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。

但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しておりません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかった時に起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡が無い場合など)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品ならびに、消耗部品については、保証の適用は除外させていただきます。

▲注意

このジャッキは洗車使用になっておりませんので、錆・腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

2) 保証請求方法

前記の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施致します。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご承知ください。

2) アフターサービスについて

- (1) 調子が悪い時……………まずこの取扱説明書の〔6.故障と処置〕の項目をもう一度ご覧になって調べてください。
- (2) それでも調子が悪いときは……………商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理を依頼してください。
- (3) 保証期間中の修理について……………保証期間は納入後 12 ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- (4) 保証期間後の修理について……………有償で対応させていただきます。
- (5) アフターサービスについての詳細・その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせください。
- (6) お問い合わせ頂く場合は、次の事柄をお知らせください。
型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に必ず記録してください。

| | |
|--------|----------------------|
| 型式 | |
| 機体番号 | |
| 購入年月日 | |
| 購入店名 | 社名： 担当者： 住所： 電 話： |
| 故障日・状況 | 年 月 日 |
| 故障日・状況 | 年 月 日 |

MEMO

MEMO

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

愛知県碧南市須磨町5番地2

〒447-0854

TEL : 0566-41-1482

FAX : 0566-42-0709